

平成 28 年 10 月吉日

会員各位

一般社団法人 宮城県作業療法士会  
会 長 道又 顕  
地域支援班班長 三浦 晃

「地域包括ケアシステムおよび地域ケア会議に資する人材育成研修会  
～地域に求められる作業療法士になるために～」開催のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のことお慶び申し上げます。

このたび、当士会企画調整局・地域支援班の企画運営もと、上記の研修会を開催する運びとなりました。本研修会は、今年 6 月、日本作業療法士協会が各士会選任者の参加を義務づけて開催した「地域ケア会議に資する人材育成研修会」の内容を引継ぎ、各士会レベルで、作業療法を実践・普及できる作業療法士の育成を目的としたものです。

遡ること平成 20 年、当協会が厚生労働省に陳情した際、「作業療法士は何をする人なのか国民が知らないため、活用して欲しいと言われても誰も活用しない」「まずは作業療法を国民に分かりやすく示すことが必要ではないか」との提言を受け、“地域包括ケアシステムに貢献する作業療法”として“生活行為向上マネジメント (MTDLP)”が開発されました。その後の研究事業・普及活動により、心身機能・活動・参加にバランスよく働きかけることのできる自立支援のツールとして MTDLP の有用性が認められるに至っております。そして、昨今の各領域の施策は、共通テーマである「2025 年までの地域包括ケアシステムの構築」に向かって行われ、活動と参加に焦点を当てたリハビリテーションの推進が明示されております。

こうした背景・状況を鑑み、本研修会は、「地域包括ケアシステムや地域ケア会議とは何か」をはじめ、「最近の医療・介護・障害者福祉の動向」と併せ、「なぜ生活行為向上マネジメントが必要なのか」「施策が求める作業療法士像とは何か」「作業療法士を活用してもらうにはどんな努力が必要か」「地域ケア会議における作業療法士視点の助言」などについて網羅的に学習できる構成となっております。よって、当県士会では、本研修会の受講を、平成 29 年度から全市町村で開催が義務化される「地域ケア会議」の助言者要件として位置づける方針です。

つきましては、士会員が一体となり、「地域に求められる作業療法士」の育成に取り組んでいくことを目的に、別紙の内容で研修会を企画しましたので、なるべく多くのご参加を募りたいと考えております。

敬具

## 記

### 【名 称】

「地域包括ケアシステムおよび地域ケア会議に資する人材育成研修会 ～地域に求められる作業療法士になるために～」

【日 程】※両日参加を原則とします ※研修会内容は別紙のプログラムをご参照ください

◆1日目：平成28年11月19日（土）9：30～17：50（受付9：00～）

◆2日目：11月20日（日）9：30～16：00

### 【会 場】

北杜学園 中央校舎2号館3階303・304号室（仙台大原簿記情報公務員専門学校）

（住所：仙台市青葉区中央4丁目2-25）

### 【参加費】

3,500円（当日受付にてお支払いいただきます）

◆本研修会は日本作業療法士協会の生涯教育基礎研修に該当します（4ポイント）

### 【懇親会】

◆会場：仙台駅周辺（30名程度を予定）

◆日時：平成28年11月19日（土）19：00～

◆会費：3500円程度

### 【申込方法】

申込用紙に必要事項を記載の上、下記へFAXもしくはE-mailでお申し込みください

申込締切は平成28年10月31日（月）です

なお、定員になり次第締め切らせていただきます（80名）

宮城県作業療法士会事務局 FAX：022-263-0098

宮城県作業療法士会地域支援班 [tiikisien\\_otmiyagi@yahoo.co.jp](mailto:tiikisien_otmiyagi@yahoo.co.jp)

【アクセス】

